

マーケットの動き（2024年11月4日～11月8日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で下落（円高）しました。
米大統領選挙でトランプ氏の当選が確実となるとインフレや財政悪化などへの警戒感から米長期金利が上昇し、日米金利差拡大による円売り・米ドル買いが優勢となりました。7日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）で0.25%の利下げが決まると日米金利差拡大の見通しが後退するなど、円買い・米ドル売りが優勢となりました。
ユーロは前週末比、対円・対米ドルで下落しました。

投資環境見通し（2024年11月）

円に対して米ドルはレンジ内で強含み、ユーロはレンジ内で弱含み

米ドル：過度な利下げ観測の修正がすでに相当程度進んだとみられ、さらなるドル高の動きは限られるとみています。FRB（米国連邦準備制度理事会）は利下げを継続する姿勢とみられる一方、米国大統領選挙後の財政拡張政策が見込まれる中、ドルは円に対してレンジ内で強含みで推移するとみています。

ユーロ：域内景気の弱さからECB（欧州中央銀行）は利下げペースをやや速めるとの見方もあり、ユーロは円に対してレンジ内でやや弱含みで推移するとみています。

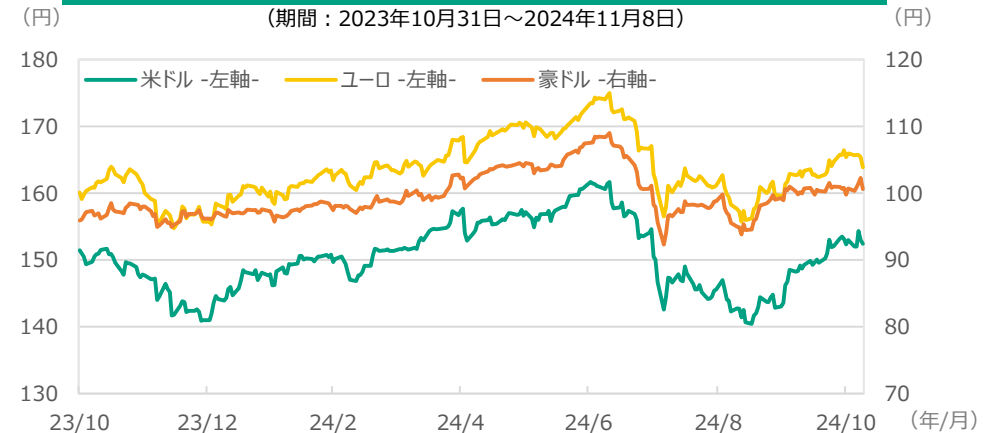
	11月8日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	152.43	▲0.54	4.10	▲3.17	1.57
ユーロ/円	163.84	▲2.11	1.12	▲3.42	2.33

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

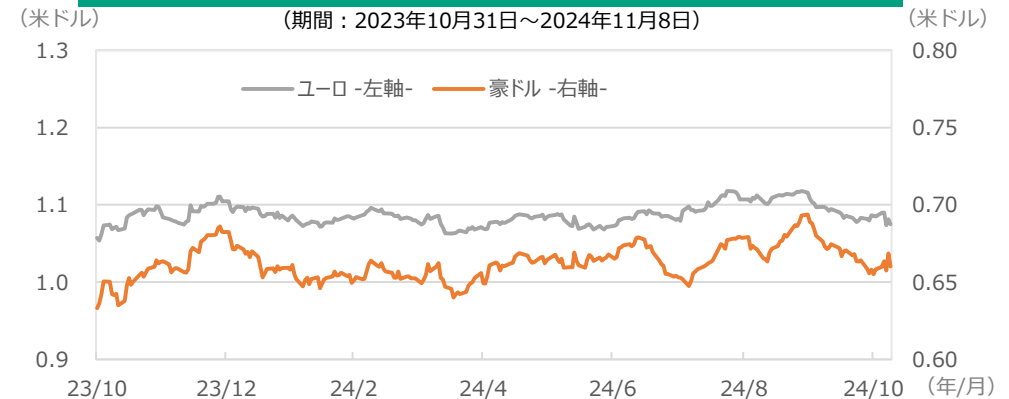
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202411_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>